

社会教育委員会報告書

成年年齢の引き下げについて



令和3年2月

令和元・2年度 御殿場市社会教育委員会

令和元年・2年度 社会教育委員会報告書

「成年年齢の引き下げ」をテーマに社会教育委員会で討議した結果について、次のとおり報告します。

令和3年2月22日

御殿場市教育委員会教育長 勝亦 重夫 様

御殿場市社会教育委員会

委員長	御宿	和実
副委員長	杉山	葉子
委員	小宮	隆弘
委員	芹沢	利博
委員	勝又	司江
委員	川口	修久
委員	勝間	田寿
委員	鎌野	順子
委員	小野	智子
委員	濱田	宏美
委員	齋藤	治俊
委員	勝間	田清
委員	芹澤	美智
委員	山本	千鶴

目 次

1 はじめに	1
2 成年年齢の引き下げ	2
3 現状と課題	3
(1) 現状	
①御殿場市の成人式について	
②民法改正によって変わった事	
(2) 民法改正に伴う課題	
4 御殿場市の取り組み	7
5 提言	8
(1) 制度変更について市民に理解してもらう場の提供	
(2) 消費者被害防止への対策	
(3) 中学校、高等学校、地区、家庭及び関係機関等で行うこと	
(4) 若い世代が活躍できる場所の提供	

○参考資料

1 はじめに

明治 29 年の民法制定から 20 歳と定められていた成年年齢が、社会・経済の変化等への対応のため、令和 4 年より 18 歳に引き下げられることとなりました。これにより契約の締結が可能となったり、親権者による監護から外れたり、若者にとって環境が大きく変わることになります。

一方、社会教育の観点では各自治体で執り行われている「成人式」の対象年齢をどのようにするか、どのように行っていくかに大きな注目が集まっています。

御殿場市社会教育委員会では、この「成年年齢の引き下げ」について研究し、単に「成人式」に限らず、幅広く今後どのような施策をとるべきかを提言します。

2 成年年齢の引き下げ

平成 30 年 6 月、民法の一部を改正する法律(平成 30 年法律第 59 号)により、令和 4 年 4 月 1 日から民法(明治 29 年法律第 89 号)の定める成年年齢が、1876 年の太政官布告以来 140 年以上続く「大人」の定義が変わり、20 歳から 18 歳に引き下げられることとなりました。

これは選挙権や憲法改正に伴う国民投票の投票権の年齢が 18 歳と定められたため、国政の重要な事項の判断に関して、18 歳、19 歳の若者が十分な判断力を持っていると認められたということです。そして、それを踏まえれば生活の基本法である民法においても 18 歳以上を成年として取り扱うのが適当であると考えられました。

また諸外国を見ても、イギリス、イタリア、フランスをはじめとするヨーロッパ諸国や、中国、メキシコ、ロシアなどの国々も成年年齢は 18 歳であり、成年年齢の世界的な主流となっています。法務省の調査「世界各国・地域の選挙権年齢及び成人年齢」によれば、成年年齢のデータがある 187 の国・地域のうち、141 の国・地域が 18 歳から成年と定めているとのことです。

3 現状と課題

(1) 現状

①御殿場市の成人式について

成年年齢の引き下げは、社会教育の面では「成人式」に大きくかかわってきます。

「成人式」は埼玉県 ^{わらび} 蕨 市が発祥とされ、敗戦ムードが漂う中で「次世代を担う青年たちを、まちをあげて激励しよう」と開催されました。その後各自治体に広がり、昭和 23 年に国民の祝日に関する法律で「成人の日」が制定され、今では国民的行事として定着をしています。

人生の節目を祝う最大の行事は、出席する本人、家族だけの問題だけではなく、振袖等のレンタル、着付けに関わる業界、記念撮影を行う写真館、お祝い行事を開催してくれる各地区の方々など多くの人に支えられています。

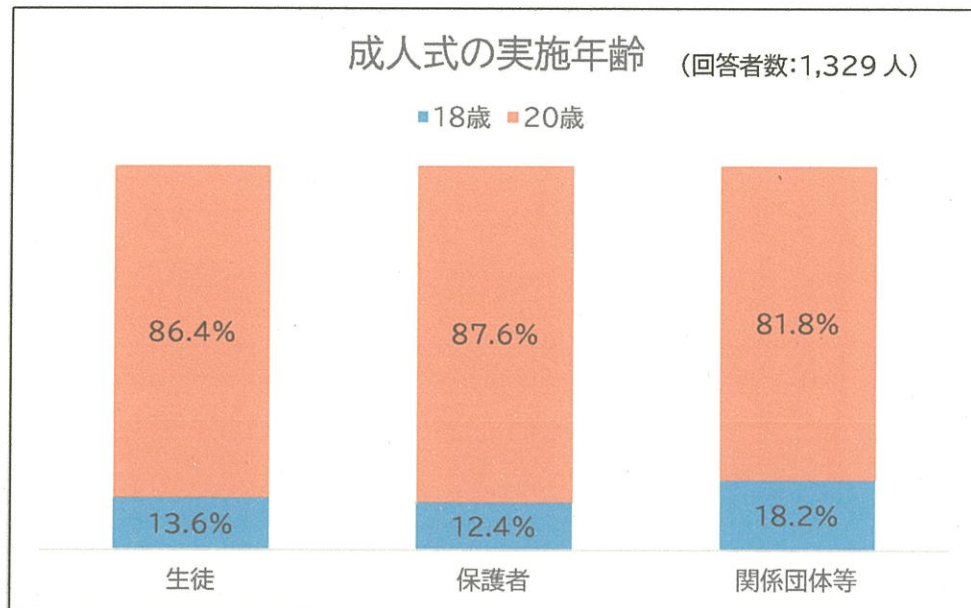
成年年齢が引き下げられるということは、単に出席者の年齢が変わるだけではなく、支えてくれる人たちや、間の 19 歳などに与える影響が大きいことは明白です。

そこで当市の教育委員会では、事業内容を含め、関係者の混乱や不安を最小限にした成人式を実施するために、民法が改正された平成 30 年度より調査、検討を始めました。

その一環として令和元年度に市内の中学校、高等学校の生徒とその保護者、各地区区長会長、美容や着物、写真の関係者に『成人式の実施年齢』についてアンケートを行いました。

なお、生徒の対象年齢は令和 4 年に 18 歳を迎える中学 3 年生、20 歳を迎える高校 2 年生とし、設問等の詳細は参考資料として掲載をしています。

アンケートの結果は次のグラフのとおりです。どのグループも 8 割以上がこれまでと同じように 20 歳になる年齢での成人式実施を望んでいることがわかりました。



◆18歳で実施を希望する意見(一部抜粋)……………

- ・18歳だと少し早いと思うが、社会にも慣れておいた方がこれからの社会にも遅れずに
ついていけると思う。(生徒)
- ・制服で参加できるから。(生徒)
- ・18歳で成人だという自覚が持てるから。(保護者)
- ・民法改正により18歳が成人となるという事実に基づき実施するため。(関係団体等)

◆20歳で実施を希望する意見(一部抜粋)……………

- ・18歳で成人だと、まだ子どものような気がする。2年間で色々なことを学び、大人に
近づくから、20歳の方が成人式という感じはある。(生徒)
- ・2分の1成人式を10歳の時にやったので、20歳で成人式をしたい。(生徒)
- ・18歳の1月は受験でまだ学生であることを考えると、参加が難しいのではないか。
(保護者)

・(18歳で成人式を行うと)経済的にも本人の気持ちも、全てにおいての準備がまだできていない。(保護者)

・振袖や羽織袴を着る方が減り、今まで成人式に関わってきた業種は低迷する。

(関係団体等)

◆社会教育委員の意見(一部抜粋).....

・18歳からの2年間は、社会を経験する機会が多く、それにより子どもたちの考え方が変わり、しっかりしてくる。その後に成人式を実施したほうが良い。

・18歳(高校3年生)は、大学受験が最大の行事となり、成人式を実施しても参加できない。

・18歳だと塾、受験等で経済的に厳しい。

.....
18歳から20歳までの2年間は社会経験をする機会が多く、それにより子どもたちの考え方がしっかりしてきます。つまり「大人の自覚」が芽生えていると思われるので、令和4年度以降の成人式も引き続き対象年齢を20歳とし、以下のように行うこととしました。

令和5年成人式について

- ①方針 令和4年4月に施行される改正民法により、成人年齢が18歳に引き下げられるが当市の成人式は従来通り、当該年度に20歳を迎える市民を対象に実施する
- ②名称 御殿場市二十歳(はたち)を祝う式典
- ③趣旨 二十歳を祝い、励まし、大人としての自覚と御殿場市民としての誇りを高める

②民法改正に伴う変更点

社会教育委員会で成年年齢の引き下げについて研究している中で、「民法の改正で成年年齢が変わる以外に、何が変わるのかよく知らない」という意見が多くありました。おそらく、多くの人が同じ状況なのではないでしょうか。

そこで、民法改正後の18歳成年が新しくできるようになる主な権利をまとめました。

一人で有効な契約をすることができる	父母の親権に属さなくなる
・携帯電話の購入 ・アパートの契約 ・クレジットカードの作成 ・ローンを組む 等	・住む場所を自分の意思で決める ・進路(進学や就職)を自分の意思で決める 等

しかしながら、今までの20歳成年で与えられた権利が、18歳成年にそのまま適応されないものもあります。それは健康被害や依存症など、関わる期間が長いほど悪影響を及ぼす可能性がある事項です。

健康被害が懸念されること	依存症の恐れがあること	罰則等
・飲酒 ・喫煙	・公営ギャンブル (競馬・競輪など)	・刑事裁判を伴う対象犯罪の拡大、厳罰化 ・起訴後の実名報道が可能

(2) 民法改正に伴う課題

民法改正後は18歳の権利として「一人で契約を結ぶ」ことはできますが、支払いができなくなったとき、保証人になってしまったときなど金融関係のトラブルが増える心配があります。周囲の大人の思い違いにより、飲酒や喫煙を勧めてしまうこともあるかもしれません。また、学校などで十分に教える機会もないのが現状です。

18歳成年がトラブルに巻き込まれないためにも、「18歳で大人になる」という意味を一緒に考えていく必要があると考えられます。

4 御殿場市の取り組み

御殿場市ではこれから大人になる若い世代に向けて、様々な取り組みを行っています。
 その中で、民法改正に関係がある分野の一部を紹介します。

分野	取り組み内容	実施機関
金融 (消費者教育)	高校生等、これから独立した生活を送る若者に向けて、消費生活に関する知識や情報についての出前講座	くらしの安全課
	多くの若者が利用するSNSを使ったリアルタイムの啓発、注意喚起	
選挙	選挙出前授業	市内高等学校・特別支援学校
	選挙啓発及び投票所案内ボランティアの募集	市内高等学校
自立	職業体験活動	市内全中学校 市内高等学校
	企業見学	
	キャリア講演会	

5 提言

以上のことを踏まえ、御殿場市社会教育委員会では 18 歳からの成人とともに、助け合い、思いやり、幸せな市民生活を作っていけるよう、以下の4つの提言をいたします。

(1) 制度変更について市民に理解してもらう場の提供

【対象者…市民】

制度変更について多くの人に理解を深めてもらうと同時に、子どもは大人になる自覚を高め、大人としてどうしたらいいかを考えてもらう場を提供する。また、大人にはこれから成人になる子どもたちに対して何ができるかを考えてもらう機会が必要である。

《具体策》

◆親子セミナー(シンポジウム)の開催……………

民法改正の概要や変更点、それによって想定されるトラブルと対応方法についてなどを家族で勉強できる機会を作る。開催は各地区や区といった参加しやすい規模で行い、毎年継続することで市民への周知と、社会全体で成人を守り育てる環境を整備する。

◆広報活動の実施……………

民法改正による変更点をわかりやすく広報をすることで、理解を深めてもらえるよう努める必要がある。媒体はパンフレット、広報ごてんば、同報無線のほか、市ホームページやソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用することで、市からの広報になじみのない新成人にも周知を図ることとする。

（２）消費者被害防止への対策 【対象者…これから成人になる人】

民法改正後は 18 歳で契約の主体者となることができるため、成人になりたてのうちは消費者被害にあう可能性が高いと考えられる。そこで、子どものうちから契約時に想定されるトラブルや被害について学び、理解を深めることができる環境を整え、将来被害者にならないように努める。

《具体策》

◆啓発パンフレットの作成・配布……………

実際にあった消費者被害や対策方法などをまとめ、目に留まりやすく、保存もしやすいパンフレットの作成と、それを利用した啓発活動を展開する。特に成年を迎える 18 歳には学校を通じて配布をすることで、被害防止に効果があると期待される。

◆新聞記事の掲載……………

地元新聞社と連携をし、啓発記事の掲載を検討する。

◆広報活動の実施……………

若い世代に届くように市の広報誌に加えて、市ホームページやSNSなど多角的な広報を展開する。

(3) 中学校、高等学校、地区、家庭、及び関係機関等で行うこと 【対象者…中学生・高校生】

生徒が成年年齢引き下げについての関心をもち、制度変更によるトラブルなどを自分のこととして捉えられるような授業を検討する必要がある。それにより、生徒が「もうすぐ大人になる」「社会の一員である」という意識を早いうちから持ち、大人としてのモラル・規範を身につけるとともに、権利・義務について理解を深めることができるよう努める。

《具体策》

◆民法改正等について学ぶ時間の確保……………

民法の改正、制度の変更について授業で扱うとともに、契約など成人の権利・義務についてキャリア教育とも関連させながら総合的な学習の時間等で、幅広く生徒に考えさせる必要がある。また、参政権について学ぶ機会として、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくための、主権者教育の推進が必要であると考え。その際に、生徒同士で話し合う機会や、ロールプレイングの手法を用いるなど、授業方法も工夫するよう検討する。

生徒は現在も社会・公民・家庭科などで、金融(消費者教育)について学んでいるが、より充実させるために、消費生活センター相談員による特別講座を行うことで、より印象に残る授業になるよう努める。

このように、中・高生のうちから制度変更に触れることで、「18歳で大人になる」という意識を根付かせることができると考える。

◆自覚・自立を促すサポート体制づくり・・・・・・・・・・・・・・・・

「社会の一員である」という自覚は急に身につくものではない。そこで、地域・家庭と連携して、成人としての自覚や自立を促すサポート体制の構築を推進する。ただ説明を受けたり、資料を読んだりするのではなく、生徒が実際に活動をする中で自分が社会の一員であるという責任を自覚する力が育まれる。そのためには、特にボランティア活動や、生徒が企画から関わることができる事業を実施することが重要である。

地区行事へ参加したり親子で体験したりと、世代を越えて交流することは、人生の先輩から学ぶ機会となり、成人の自覚が生まれるきっかけになると考えられる。

◆教員の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

生徒が民法の改正について学ぶとともに、教員も同じように学ぶ必要があると考える。校内で担当を明確にし、先に述べた特別講座の実施や教員への情報提供など、窓口としての役割を担っていくことも必要である。

また、教員への研修は市と連携して継続的に行うことで、情報の共有や蓄積をすることができ、校内の啓発を推進することが可能である。

（４）若い世代が活躍できる場所の提供 【対象者…新成人】

活躍の場をつくることで、若い世代の地域貢献、郷土愛の心を育てる必要がある。「社会に対して役立っている」という気持ちが芽生え、成人後に積極的に社会参加する人材になることが期待される。

《具体策》

◆若い世代を応援する取り組みの実施……………

新成人の中には地域や職場、世界で活躍している人がいるが、それを知る機会はなかなかない。そこで広報誌等を使って紹介をし、同世代のモチベーションをあげるとともに、その他の世代に頑張りを知っていただく機会をつくる。

また、文化スポーツの発表や表彰で、例えば「〇〇展新成人部門」のような若い世代を対象とした部門を設け、活躍できる場所を提供することで、応援をしていく。

◆新成人(18歳)を祝う行事の企画……………

今後の御殿場市では、従来の成人式を「御殿場市二十歳を祝う式典」として20歳で行うこととした。そこで、「御殿場市新成人を祝う式典」の在り方については、新成人が自ら実行委員会を立ち上げ、イベントを企画する機会を提供していくことや、冊子を配布する等も検討する必要がある。

○ 参考資料

成人式アンケート集計(中学生・高校生)

回答者数…中学生300人、高校生403人

Q1 性別を教えてください。(1つ選択)

	全体		中学生		高校生	
	人数	%	人数	%	人数	%
①男性	366	52.1%	153	51.0%	213	53.0%
②女性	336	47.9%	147	49.0%	189	47.0%
合計	702		300		402	

Q2 将来、成人式に参加したいですか。(1つ選択)

	全体		中学生		高校生	
	人数	%	人数	%	人数	%
①ぜひ参加したい	260	37.0%	101	33.7%	159	39.5%
②参加したい	343	48.8%	159	53.0%	184	45.7%
③あまり参加したくない	74	10.5%	29	9.7%	45	11.2%
④参加したくない	26	3.7%	11	3.7%	15	3.7%
合計	703		300		403	

Q3 成人式について、どのようなイメージを持っていますか。(1つ選択)

	全体		中学生		高校生	
	人数	%	人数	%	人数	%
①お祝い事・人生の節目の行事	440	62.6%	217	72.3%	223	55.3%
②参加しなくてはならない行事	29	4.1%	17	5.7%	12	3.0%
③久しぶりに友達に会える(同窓会)行事	196	27.9%	59	19.7%	137	34.0%
④晴着を着れる行事	19	2.7%	2	0.7%	17	4.2%
⑤煩わしい行事	19	2.7%	5	1.7%	14	3.5%
合計	703		300		403	

Q4 成人式は、何歳で実施したほうがよいですか。(1つ選択)

	全体		中学生		高校生	
	人数	%	人数	%	人数	%
①18歳	95	13.6%	66	22.1%	29	7.3%
②20歳	603	86.4%	232	77.9%	371	92.8%
合計	698		298		400	

Q5 「Q4」の回答理由を教えてください。(Q4で①と回答した方)※1つ選択

	全体		中学生		高校生	
	人数	%	人数	%	人数	%
①18歳だと受験や就職の時期だから	188	31.2%	75	32.2%	113	30.5%
②友達の成長を見たいから	45	7.5%	20	8.6%	25	6.8%
③これまで20歳で実施してきたから	248	41.1%	98	42.1%	150	40.5%
④18歳だと飲酒・喫煙ができないから	113	18.7%	40	17.2%	73	19.7%
⑤その他	9	1.5%			9	2.4%
合計	603		233		370	

Q6 「Q4」の回答理由を教えてください。(Q4で②と回答した方)※1つ選択

	全体		中学生		高校生	
	人数	%	人数	%	人数	%
①成人年齢で行うべきだから	35	38.5%	21	33.3%	14	50.0%
②18歳で成人の自覚をもてるから	37	40.7%	29	46.0%	8	28.6%
③20歳だと就職の時期だから	12	13.2%	11	17.5%	1	3.6%
④20歳だと着物やスーツを買うので経済的に厳しいから	3	3.3%	2	3.2%	1	3.6%
⑤その他	4	4.4%			4	14.3%
合計	91		63		28	

Q7 どのような成人式に参加したいですか。(1つ選択)

	全体		中学生		高校生	
	人数	%	人数	%	人数	%
①厳粛な式典の成人式	51	7.3%	27	9.1%	24	6.0%
②有名人の講演会やアトラクションなどの成人式	84	12.0%	32	10.7%	52	13.0%
③旧友や恩師との再会を楽しむ成人式	448	64.2%	184	61.7%	264	66.0%
④新成人同士の交流できる成人式	78	11.2%	35	11.7%	43	10.8%
⑤18～20年間の歴史を振り返る成人式	37	5.3%	20	6.7%	17	4.3%
合計	698		298		400	

成人式アンケート集計(保護者)

回答者数…中学生保護者294人、高校生保護者322人

Q1 性別を教えてください。(1つ選択)

	全体		保護者(中)		保護者(高)	
	人数	%	人数	%	人数	%
①男性	101	16.4%	52	17.7%	49	15.2%
②女性	514	83.6%	241	82.3%	273	84.8%
合計	615		293		322	

Q2 お子さんの性別を教えてください。(1つ選択)

	全体		保護者(中)		保護者(高)	
	人数	%	人数	%	人数	%
①男性	314	51.0%	150	51.0%	164	50.9%
②女性	302	49.0%	144	49.0%	158	49.1%
合計	616		294		322	

Q3 ご自身が20歳の時に成人式に参加されましたか。(1つ選択)

	全体		保護者(中)		保護者(高)	
	人数	%	人数	%	人数	%
①参加した	519	84.4%	241	82.3%	278	86.3%
②参加しなかった	96	15.6%	52	17.7%	44	13.7%
合計	615		293		322	

Q4 成人式は必要だと思いますか。

	全体		保護者(中)		保護者(高)	
	人数	%	人数	%	人数	%
①必要である	530	87.5%	247	86.1%	283	88.7%
②必要ない	76	12.5%	40	13.9%	36	11.3%
合計	606		287		319	

Q5 成人式について、どのようなイメージを持っていますか。(1つ選択)

	全体		保護者(中)		保護者(高)	
	人数	%	人数	%	人数	%
①お祝い事・人生の節目の行事	492	79.9%	236	80.3%	256	79.5%
②参加しなくてはならない行事	7	1.1%	3	1.0%	4	1.2%
③久しぶりに友達に会える(同窓会)行事	88	14.3%	45	15.3%	43	13.4%
④晴着を着れる行事	18	2.9%	6	2.0%	12	3.7%
⑤煩わしい行事	11	1.8%	4	1.4%	7	2.2%
合計	616		294		322	

Q6 何歳で成人式を行うのがふさわしいですか。(1つ選択)

	全体		保護者(中)		保護者(高)	
	人数	%	人数	%	人数	%
①18歳	76	12.4%	43	14.7%	33	10.2%
②20歳	539	87.6%	250	85.3%	289	89.8%
合計	615		293		322	

Q7 「Q6」の回答理由を教えてください。(Q6で①と回答した方)※1つ選択

	全体		保護者(中)		保護者(高)	
	人数	%	人数	%	人数	%
①成人年齢で行うべきだから	30	41.7%	15	36.6%	15	48.4%
②18歳で成人と自覚をもてるから	37	51.4%	22	53.7%	15	48.4%
③20歳だと就職の時期だから	2	2.8%	2	4.9%	0	0.0%
④20歳だと経済的に厳しいから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤20歳だと遠方にて参加しづらいから	3	4.2%	2	4.9%	1	3.2%
⑥その他	4	5.6%	2	4.9%	2	6.5%
合計	72		41		31	

Q8 「Q6」の回答理由を教えてください。(Q6で②と回答した方)※1つ選択

	全体		保護者(中)		保護者(高)	
	人数	%	人数	%	人数	%
①これまでの慣例だから	188	41.0%	74	35.4%	114	45.6%
②18歳だと受験の時期だから	180	39.2%	90	43.1%	90	36.0%
③18歳だと就職の時期だから	19	4.1%	7	3.3%	12	4.8%
④18歳だと経済的に厳しいから	28	6.1%	14	6.7%	14	5.6%
⑤18歳だと準備が間に合わないから	44	9.6%	24	11.5%	20	8.0%
⑥その他	62	13.5%	31	14.8%	31	12.4%
合計	459		209		250	

成人式アンケート集計(自治会等)

アンケート対象・・・15団体 アンケート回答・・・12団体

Q1 どのような団体の方ですか。

	全体	
	数	%
①自治会関係	4	33.3%
②美容関係	1	8.3%
③着物関係	2	16.7%
④写真関係	5	41.7%
合計	12	

Q2 成人式は必要だと思いますか。

	全体	
	数	%
①必要	12	100.0%
②必要ない	0	0.0%
合計	12	

Q3 成人式は自治体が開催したほうがよいですか。

	全体	
	人数	%
①そう思う	10	83.3%
②そう思わない	2	16.7%
合計	12	

Q4 何歳で成人式を行うのがふさわしいですか。

	全体	
	人数	%
①18歳	2	18.2%
②20歳	9	81.8%
合計	11	

Q5 成人式を18歳で実施した場合、どのような影響がありますか。

18歳で成人式となると高校3年生で受験を控えている方達もいらっしゃると思いますので、成人式に出たくても、出られないという状況になってしまうかと思います。

振袖や羽織袴を着る方が減り、今まで成人式に関わってきた業種は低迷する。廃業に追い込まれる会社もでることでしょう。

ほとんどが高校生であり、学校行事と大差がなくなってしまう。

本人や親御さんも同じシーズンに成人式、受験、卒業、入学(就職)等が続けて行われることに大変さを感じると思う。

年齢で一括りにするのはどうかと思いますが、精神的にまだ未熟なのではないかと思います。

成人式を行う時期によって、参加できない人々が発生する
(良い時期を見つけることが必要)

初年度に混乱が起きると思います。式自体を2～3日に分けて年齢別でやるとか。
1日で1部2部とやるとレンタルの着物が足りなくなるなど端々の方まで混乱が生じると思います。

大学受験時期とかさなるので、適当でない

受験、経済(金銭)的に影響がある

令和元・2年度社会教育委員会報告書
「成年年齢引き下げについて」

発 行 令和3年2月
発行者 御殿場市社会教育委員会
事務局 御殿場市萩原483番地
御殿場市教育委員会 社会教育課
電話 0550-82-0339 Fax0550-81-0370